

## ご挨拶 理事長就任にあたって

私儀

7月9日の理事会において、第9代理事長に選出されましたことをお知らせ申し上げます。

日本フレンズ奉仕団の設立は、日本に派遣されたアメリカ・フレンズ奉仕団のミス・ローズが、まだ戦後の混乱期にある1949年に、子どもたちのための託児施設を作ったことに始まります。このアメリカ・フレンズ奉仕団は、クェーカー教徒の社会奉仕団体であり、1947年にノーベル平和賞を授与しています。この団体は、1953年に社会福祉法人日本フレンズ奉仕団を設立しました。その後、運営を日本側に委譲し、現在に至るまで、社会の要請に応えつつ、社会福祉サービスの提供を行っています。

その間に、わが国の少子高齢化が進行にともない、社会福祉法人日本フレンズ奉仕団は、新しい発想のもとで幼老複合の施設を目指し、1990年に4階建ての複合施設を作りました。1階におともだち保育園、2階、3階に特別養護老人ホーム、4階にデイサービスセンターを開き、現在の形ができあがりました。この幼老複合施設は核家族化が進む現代において、異世代交流を通して、ふれあいを生み出せる貴重な機会を提供しています。現在、本法人では、高齢者部門では、特別養護老人ホーム、在宅サービスセンター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所を運営しています。保育園部門は、「おともだち保育園」、「おともだち・ララ保育園」と2つの分園を運営しています。

本法人の理念は、第一に、子どもから高齢者まで、地域の住民のウェルビーイングの向上に寄与できる身近な存在として、生活支援の中核として専門的で質の高い社会福祉サービスを提供することです。第二に、人々のニーズと社会的要請に応えるために、高い倫理観と科学的根拠を持った支援を行うことです。第三に、法人の強みを生かし、地域の関係機関との連携を図り、地域福祉の向上に寄与することを目指します。

子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる地域共生社会の実現に向けて、サービス提供だけにとどまらず、地域住民と共に人の「生」を支えるまちづくりに貢献できる法人として、「地域の人々と協働するコミュニティワーカーのプロ集団を目指す」という経営理念の継承し、それを結実させるべく、次代を繋ぐ人材の育成に力を尽くしてまいります。今後も更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月31日

社会福祉法人日本フレンズ奉仕団

理事長小原眞知子